

サイト名称

北海道大学雨龍研究林

法人・団体名

国立大学法人北海道大学

希望する支援の種類

- 金銭的支援
- 物的支援

支援者向けコメント

雨龍研究林は北海道大学が所有する研究林のうち最古にして最寒の森であり、面積は約25,000haに及びます。朱鞠内湖を囲む研究林北部には、北海道の代表的な森林タイプである針広混交林が分布しています。一方南部は、蛇紋岩地帯に成立するアカエゾマツの純林が比較的大きな面積を占めています。

雨龍研究林では、天然林を中心とした広大で豊かな森林を活かした教育・研究活動を行っています。「朱鞠内湖とその流域を中心とした環境変化と生物多様性保全の長期総合研究」という大テーマのもと、長期・大規模な野外試験やモニタリングを行い、森林生態系の諸機能や生物多様性の維持機構を明らかにするとともに、それらを考慮した北方森林景観の管理方法を検討しています。また、生態系の機能と保全、地域社会との関係を総合的に研究できるフィールドであることを最大限に活用して、専門分野を横断した多彩な共同研究を実施しています。

森林生態系を守りつつ、森林に関わる研究・教育を学内外・国内外・地域に展開する取り組みを、多くの方とともに推進する契機にしたいと考えています。

希望する支援の具体的な内容

研究林内における生物多様性観測体制の基盤となる林道の路網維持のための金銭的支援、物的支援（砂利などの資材類、林業機械など）



自然共生サイト等情報

[北海道大学北方生物圏フィールド科学センター森林圏ステーション雨龍研究林](#)
[雨龍研究林全天トレイル](#)

